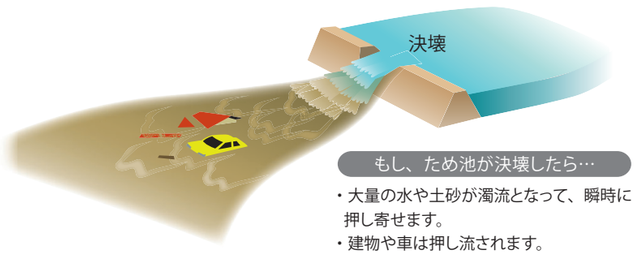
広島市ため池ハザードマップ

奥梶名池（おくかじないけ）

平成28年熊本地震や、平成30年7月豪雨などの近年の災害において、ため池が決壊し、下流の地域で被害が発生しています。このマップを活用して、ため池が決壊した場合に被害が予想される範囲や、避難方法を確認しましょう。



もし、ため池が決壊したら…

- 大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
- 建物や車は押し流されます。
- 道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。

いざというときの緊急連絡先（TEL）

（ため池に異常がみられた場合）安佐北区役所 農林課	082-819-3934
安佐北警察署	082-812-0110
安佐北消防署	082-814-4795
警察 110	消防 119

災害時の安否確認

- 電話からは「災害用伝言ダイヤル」 171（局番なし）
- パソコン・スマートフォン・携帯電話からは「web171」
  https://www.web171.jp/

積極的に防災情報を入手しよう

広島市では、災害時における防災情報をさまざまな形で配信しています。

広島市防災ポータル

避難情報の発令状況、避難場所の開設状況等を確認できます。

パソコンサイト / スマートフォンサイト

https://www.bousai.city.hiroshima.lg.jp/

広島市防災情報メール

下記アドレスに、空メールを送信して、登録してください。

空メール送信

entry@k-bousai.city.hiroshima.jp

ひろしま避難誘導アプリ「避難所へGo！」

災害発生前に適切な避難行動を行うための防災アプリです。避難指示等の発令時、開設中の最寄りの避難所へのルートを表示しています。

iOS / Android

※読み込みが出来ない場合、下部の「広島市防災情報サイト」よりアクセスしてください。

● ため池決壊について知ろう

≫ ため池決壊の原因（大雨と地震）

大雨

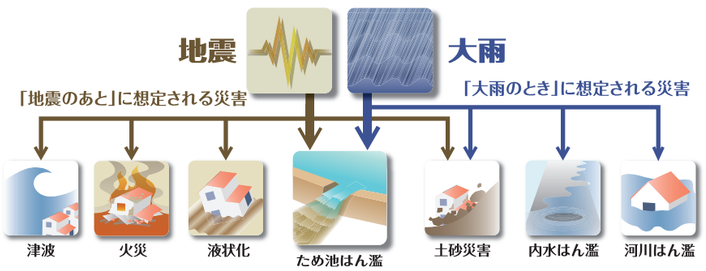
集中豪雨や長雨、土砂災害や流木などによって、ため池の水位が上昇すると、堤防で漏水が起こったり、越水した水の勢いで堤防が侵食されて、ため池が決壊するおそれがあります。

地震

地震による強い揺れによって、堤防に亀裂や陥没などが発生したり、地盤が液状化して、ため池が決壊することもあります。

▶ ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害

ため池が決壊するおそれがある状況では、周辺で様々な災害が発生していることが考えられます。ため池決壊と同時に注意が必要です。



▶ ため池について、もっと詳しく知るには

防災重点ため池と位置付けているため池の基礎情報及び浸水想定区域を提供しています。

広島県ため池マップ

https://www2.wagmap.jp/pref-hiroshima/Portal

スマートフォンサイト

広島市では災害に応じてハザードマップを作成しています。適切な避難行動がとれるよう、ため池ハザードマップとあわせてご自宅等の想定される被害をご確認ください。

広島市防災情報サイト

https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/saigaiinfo/

作成／令和5年（2023年）3月　広島市 経済観光局 農林水産部 農林整備課

● ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

【マップを確認】	【浸水の深さ】	【判断】	【どこへ】	【どうやって】
●想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。 ●裏面の地図で、自分の家で想定される浸水の深さを確認し、避難の方法を考えましょう。	**3m 以上** ●2階以上が浸水 ●水流が強い場合には、木造住宅が倒壊する危険がある	可能な限り	**浸水しない安全な場所** （避難場所、知人の家、協定施設など） ●安全な場所へ避難する ●立退き避難	●歩きやすい服装 ●徒歩で避難 ●お年寄りなどの避難に協力を ●事前に避難先を話し合う
	50cm～3m 未満 ●床上浸水 ●1階以上が浸水 ●強い水流の中を歩くことは危険	時間と安全な避難経路が確保されていれば 少なくとも	**自宅の２階** **危険のない近くの高い建物** ●自宅や近くの丈夫な建物の２階以上にとどまる ●垂直避難	●水、食べ物、簡易トイレ、懐中電灯、ラジオ、貴重品などを2階に持って上がる ●近所のお年寄りなどもご一緒に
	20cm～50cm 未満 ●床下浸水 ●大人のひざ下程度 ●浸水の深さがひざ上になると、歩行は危険	状況により 状況により		
	20cm 未満 ●足首までつかる深さ ●歩行は可能だが、屋外への避難は危険	可能な限り	**自宅にとどまる** ●むやみな移動はかえって危険 ●屋内安全確保	●こんなときは避難しましょう ・大規模な地震が発生したら（2～3日後までは警戒が必要） ・集中豪雨、長雨のとき

● 正確な情報を入手しよう

ため池専用の避難情報はありませんが、土砂災害や洪水など、他の災害による危険性の高まりに応じて、避難情報を発令しますので避難開始の参考としてください。

広島市 → 避難情報
- ●広島市防災行政無線
- ●広島市防災ポータル
- ●広島市防災情報メール
- ●広島市ホームページ
- ●SNS（ツイッター、フェイスブック、LINE）
- ●緊急速報メール（エリアメール）
- ●ひろしま避難誘導アプリ
- ●Lアラート
- ●サイレン

→ 住民のみなさん

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険　直ちに安全確保！	緊急安全確保※1
	＜警戒レベル４までに必ず避難！＞		
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示（注）
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報（気象庁）

※1　市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル５は必ず発令されるものではない
※2　警戒レベル３は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである
（注）　避難指示は、令和３年の災対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令する

出典：内閣府（防災担当）令和３年５月　避難情報に関するガイドライン

広島市ため池ハザードマップ

奥梶名池（おくかじないけ）

貯水量　360 m³
堤　高　4.0 m

ため池が満水状態のときに大地震を受け、堤防が瞬時に決壊するという最も不利な条件でシミュレーション（広島県：令和元～令和2年度作成）を行っており、浸水が想定される最大の範囲を示しています。災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

災害の種類（洪水・土砂災害・地震・津波・高潮）によって開設される指定緊急避難場所は異なります。開設した場合は、広島市防災ポータル、市防災情報メールやテレビなどでお知らせします。

指定緊急避難場所
切迫した災害の危険から緊急的に逃れるための施設または場所です。

指定避難所
避難生活を送るための施設です。

3分　ため池決壊後の到達時間

河川　対象ため池

土砂災害
（広島県、令和4年10月27日告示分まで）

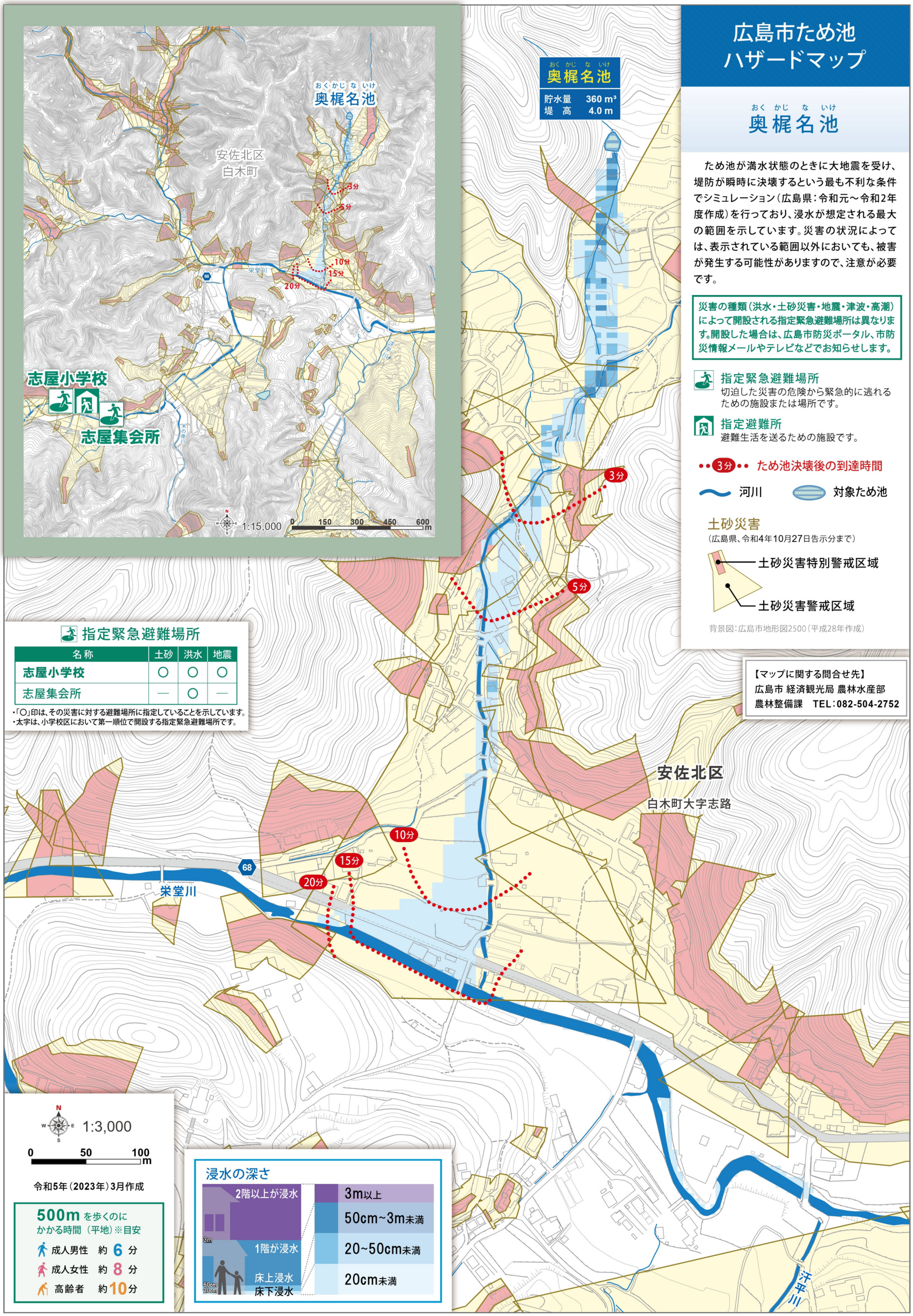
土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域

背景図：広島市地形図2500（平成28年作成）

【マップに関する問合せ先】
広島市 経済観光局 農林水産部
農林整備課　TEL：082-504-2752

指定緊急避難場所

名称	土砂	洪水	地震
志屋小学校	○	○	○
志屋集会所	—	○	—

・「○」印は、その災害に対する避難場所に指定していることを示しています。
・太字は、小学校区において第一順位で開設する指定緊急避難場所です。